第 202 回 長崎大学 FD 実施報告書（令和 2 年 3 月 19 日提出）

１．題　　目　：　e ラーニングで学ぶ「教学マネジメントとシラバスの役割」

２．日　　時　：　令和 2 年 1 月 20 日（月）-3 月 6 日（金）

３．場　　所　：　e ラーニング型（LACS コミュニティ活用）

４．主　　催　：　大学教育イノベーションセンター

５．対　　象　：　全教職員

６．長崎大学 FD に関する申合せ第 2 第 1 項の該当について【複数選択可】
（該当するものに〇を記入すること）：
［　〇　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回の FD の趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）：
教学マネジメントの確立においては、学位プログラムが「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力を備えた学生を育成できていることをエビデンスと共に説明できるようにすることが重要となります。体系的に教育課程を編成されているかどうかが学位プログラムレベルの検証となり、そのプログラムレベルに基づき具体的に授業設計・実践することが、各授業の役割であり、その計画を記述したものがシラバスとなります。このシラバスの位置づけの確認と内容記載における注意点などを動画により説明し、次年度のシラバスに活かすことを目的とします。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）：
1.　動画コンテンツの視聴（30 分程度）
2.　受講後課題（実際に担当する授業をひとつ選び、授業到達目標など必要項目（テンプレートあり）の提出を行う）

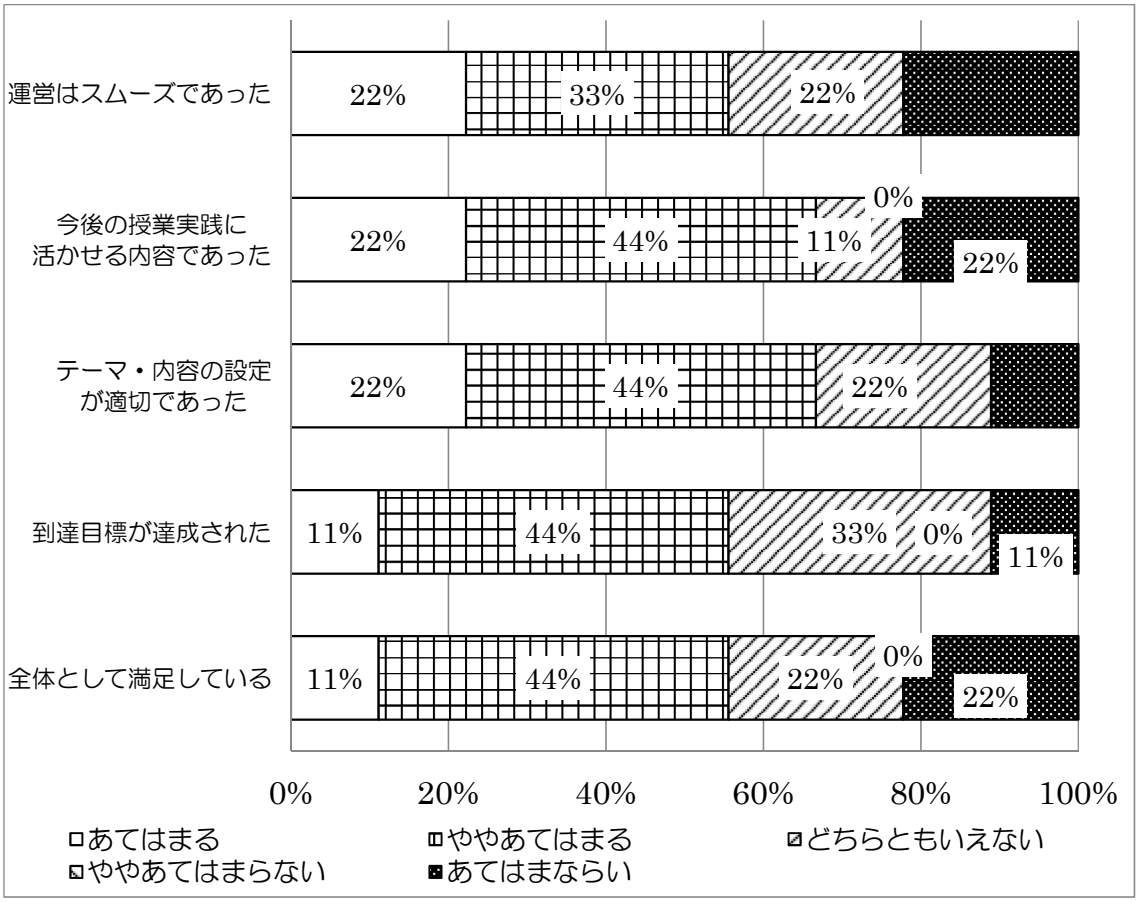
９．参　加　者：　96　名（受講証明書発行対象者：　58　名）

（内訳）

所　属	人　数
教育学部	2
経済学部	1
医学部	4
薬学部	1
医歯薬学総合研究科（医学系）	19
医歯薬学総合研究科（保健学系）	9
医歯薬学総合研究科（歯学系）	1
工学研究科	3
熱帯医学研究所	8
原爆後障害医療研究所	6
病院	4
計	

１０．実施したFDの成果等：

（1）参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



●今回のプログラムについて，お気づき・ご意見・ご感想。
・具体例がもう少しあると助かります。
・シラバス作成の適切な時期に e-learning を有難うございます。十分に理解できなかった点がありますが、シラバス作成に活かしたいと思います。
・e-learning での FD はとても取り組みやすいです。来年度の担当科目シラバス作成のための準備学習として、タイムリーでとても勉強になりました。作成した課題のフィードバックがいただけると幸いです。
・シラバス作成をしてみましたが、初めての教員に対して専門用語(たとえば DP) が多く理解するのに時間が掛かる。
・スライドの文字が多く、ナレーションで説明している箇所がわかりにくかった。音声が機械的であったことも全体的な理解の妨げになったように思います。
・e-learing を受講するための予習 e-learninng があった方がよかった
・e-Learning を事前に受けたうえで、FD で直接教えて頂いたので、より内容の理解は深まった。

●長崎大学 FD としてとりあげるテーマ・内容について，ご意見・ご要望。
・学内で利用できる実験装置についての説明。装置の使い方や予約の仕方など。
・今後もこのようなタイムリーな FD をお願いします。
・いつも興味深いテーマをありがとうございます。
・時間が無い教員に対して、もっと分かりやすくして頂けるとありがたい。
・シラバスはまだまだこれからも改訂が必要なものかと思います。国からの指示（減算を免れるため）でシラバス改訂を進めるのではなく、学生への教育改善のためのシラバ改訂を全学的に行った方が良いのだろうと思います。

(2) 総　　括

今回、教学マネジメントに関する指針が、中央教育審議会大学分科会教学マネジメント特別委員会における議論を経て、教学マネジメントの確立に向けた各大学の真剣な検討と取組を促す契機とすることを目的として作成された。また、令和３年度に大学学位授与機構における機関別認証評価に提出することも考え、教学マネジメントとはどのようなものなのか？また、教員が行うべきことは何なのかを理解して頂くための動画コンテンツを作成し、ＦＤに至った。特に、シラバスの位置づけの確認と内容記載における注意点などを把握してもらうために、代表的な担当科目の「授業到達目標」「事前事後学修の項目」についての課題を提出して課したが、担当授業とディプロマポリシーの繋がりを把握されていないものもあった。また、「事前事後学修の項目」については、具体的な時間を記入することが、教務委員会（２月）で決まったにも関わらず、未記入で提出されたものも多く見られた。

また、同様な研修を部局ＦＤで開催している部署もあり、そのスライドをもとに動画コンテンツを作成したが、合成音声でわかりにくいところがあったこと、スライドの文字が多すぎることなど、コンテンツの内容について不備も指摘された。今後のコンテンツ作成の参考にしたい。

１１．実施代表者の連絡先：

大学教育イノベーションセンター
教授　若菜 啓孝
e-mail：wknhrtk@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2907

１２．申請者の連絡先：

大学教育イノベーションセンター
教授　若菜 啓孝
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2907